

育心

発行責任者	: 秦野市教育研究所長 柏木 荘一	発行日	: 平成27年3月23日
秦野市教育研究所 住所	: 秦野市桜町1-3-2	電話	: 0463-86-9102
e-mail	: k-kenkyu@city.hadano.kanagawa.jp		
URL	: http://www.city.hadano.kanagawa.jp/k-kenkyu/kenkyu.html		

「自己開示」から始まる関係づくり

「良好な人間関係を築くには、自分の気持ちを素直に打ち明ける、つまり自己開示することが大切である。」ということ今年度の夏に新規採用教員へ伝えました。自分の成長を促すためには、人間関係の中から学び取ることが多く、誰かとコミュニケーションをとり、打ち解けて、信頼関係を築く中で刺激し合うことが多量にあります。

この研究所だよりの表題にもあるように、心を育てることは人格形成の根幹であります。子どもたちと日々ふれあい、共に歩んでいく教職員として、いつも心に留めておきたいと考えております。

この一年、教育研究所では4つの研究部会を立ち上げ、子どもたちの意欲を喚起し、学びを支えるための副教材や指導資料などについて研究を行ってきました。協議をする中で、研究員の先生方はお互いに自己開示し、思いをぶつけあい、学校の先生方が活用しやすい研究紀要を作成するために、ご尽力くださいました。

教育の現場では、目まぐるしく状況が変化し、ICT等のコミュニケーションツールも刻々と進化を遂げています。しかしこの研究員の先生方のように、顔を突き合わせてじっくりと議論し、新しいものを生み出すことは、私たちにとって大切な人間関係づくりの第一歩であることを改めて胸に刻み、新年度に向かいたいと思います。



算数・数学教育研修講座

「小中連携を重視した算数・数学の学習指導

—数学的活動と言語活動の充実—

誰かと話したくなるような算数的活動を取り入れる

平成26年10月22日(水)に秦野市立図書館視聴覚室で、算数・数学教育研修講座を開催しました。講師に、横浜国立大学教育人間科学部数学教育講座准教授、両角達男氏をお迎えしました。



教科書を「ユーザーとして」使いこなす

現在や以前に使われていた教科書を使い、「どちらが算数で、どちらが数学の教科書であるか」という問いがありました。『尋常小学算術(昭和16年)』の一部を紹介していただき、「今でも充分、使えますね。」と教科書を使った単元の導入や展開の可能性を提案されました。



参加者も活動を通して学ぶ

お話の中には、参加者が実際に活動する場面が多くちりばめられていました。「授業もこうあってほしい。」という思いが込められているようでした。

例えば、折り紙を使った算数的活動。折り紙で2種類の三角定規をつくります。操作活動を通して、他者と話したくなるのは大人も同じです。具体的な活動を行うことで、伝えたい実感も参加者も抱いているようでした。数学的に試行錯誤する活動を取り入れ、そのさまよいに関して考えたことを言語で表現する活動を大切にすることを示唆してくださいました。



具体物を使って真剣に悩む

また、両角先生は、「基礎基本は大切です。できなかったところをできるようにするために、『フリプリ』を活用されるといいですね。」と、教育研究所が刊行している補助学習プリント集「フリプリ」の活用も提案されました。

参加者の感想には「算数なのに体も動かす授業の提案がとてものしかった! (折り紙活用します!)」「過去の教科書を使うなど教材研究の重要性を学んだ。」「子どもの発想を生かしたりつなげたりするためには、それをうける先生がひきだしを持っていないとできないな、と思った。」と、明日の授業に生かしていきたいという思いがたくさん表れていました。『フリプリ』と共に、研修内容もご活用ください。

秦野を愛する子どもたちを育む

39名がはだのっ子アワードで表彰



平成27年1月17日（土）秦野市総合体育館サブアリーナにて、8回目の「はだのっ子アワード表彰式」が行われました。「はだのっ子アワード」は、秦野の自然、風土、産業、伝統、文化などの地域資源を生かした学習及び体験における子どもたちの努力を褒め称え、ふるさと秦野を愛する子どもたちをはぐくむために行われているものです。今年度の受賞者は、ふるさと秦野検定部門15名、文芸部門24名、合計39名でした。体験活動部門において全7地区で活動したグランドスラムの受賞者は3名でした。新年度は市の各地区を訪れる体験活動部門の参加者を広げていきたいと考えています。

体育・保健体育科指導の研究成果を全県に向けて発信

教育研究所研究員5名が県の研究発表大会に参加



平成26年10月17日（金）に、神奈川県教育研究所連盟研究発表大会が相模原市民会館で開催されました。

秦野市からは、平成25年度の小中一貫教育保健体育研究部会の研究員（発表者：南中 大熊桃世教諭）より、「球技領域（ベースボール型）における効果的な指導のあり方について～小中一貫を見通した保健体育科指導の充実に向けて～」をテーマに発表を行いました。

発表の内容は、作成した研究紀要に基づき、小中学校の教育課程における系統性・連続性を意識した、小中一貫を見通したベースボール型

指導のあり方についてです。研究の理論とともに、検証授業における実践例の映像や、指導法の実演を交えた発表に多くの参加者の関心が寄せられ、協議では、成果やその活用について活発な意見が交わされました。

ご活用ください

eライブラリ アドバンス

今年度市内全中学校のパソコンルームに「eライブラリ アドバンス」が導入され、市内全小中学校で使用可能になりました。この学習支援システムでは、教科書等に対応したドリル教材（約60,000問）や提示型学習教材（約10,000問）が提供されています。各校、研修も終了しており、先生方のパソコンにも導入されていますので、授業や休み時間等の活用場面を検討し、子どもたちの意欲を高めたり、効果的な学習を進めたりしていただきたいと思います。

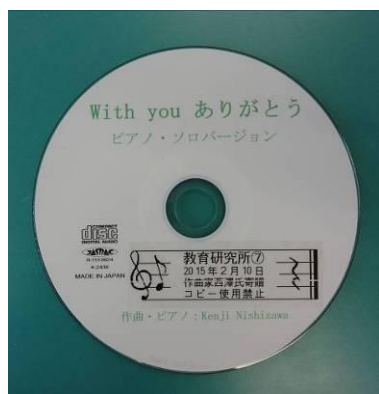
ごみ減量啓発用 DVD ビデオ

清掃事業所で作成された、ごみ減量啓発用 DVD ビデオ「ごみを減らす3つの R～今すぐ私たちにできること～」が、市内小中学校に配付されましたので、環境教育等に役立てていただきたいと思います。教育研究所でも貸し出しをしております。



「With you ありがとう」CD

秦野市子どもの歌「With you ありがとう」は、秦野市制施行50周年記念に公募による作詞と寄付者の作曲により制作され、幼児・児童・生徒をはじめとする市民に親しまれている曲です。この度、作曲家・編曲家・ピアニストの西澤健治氏より、市制施行60周年を機に教育活動の場面等で同曲をさらに広く活用してほしいという意向のもと、「ピアノ・ソロバージョン」が寄付されましたので、ご活用ください。



その他

他にも、以下のようなものが多数、教育研究所に所蔵されております。教育活動のためにご活用ください。ご連絡をお待ちしております。

「ふるさと秦野郷土かるた」10セット
「ふるさと秦野郷土ジャンボかるた」2セット

「秦野ふるさとめぐり」30冊

「防災紙芝居『ちゅーたとふしぎなメパソ』」
2セット

「防災カルタ『あそぼうさいカルタ』」
8セット

「防災教材（冊子・DVD）『勇気を持って～災害を知り、いのちを守る～』」

「小学校えいご大型絵本」全8巻 2セット